

第3回理事会議事要旨

日時	令和元年10月19日（土）午後3時から午後4時40分
場所	御船町役場第二分庁舎
出席者	山本・鋤崎・久我・齋藤・住吉・山田・西島・内山・中村・内富・原・大山・永嶋 （理事13名） 永田・太田黒（事務局2名）
会 議 内 容	
1 開会	
2 あいさつ	挨拶：山本副会長
3 議長選出	議長：山本副会長
4 報告	
（1）SCS 研修会について	・山田理事から研修会の概要報告。
（2）九州ブロッククラブネットワークアクション2019in みやざきの開催について	・齋藤理事長から説明。 ・10月18日現在で本県から現在24名（全体118名）の参加状況。 ・10月中は申し込みを受け付けるとのことであるため、各ブロックで再度情報を共有いただきたい。
（3）2019年度スポーツ庁委託事業 スポーツ活動支援事業（総合型クラブの質的充実に向けた支援推進事業）県版プロジェクト、連携・協働体制構築プロジェクト委員への就任について	・事務局から事業内容及び本協議会からの委員説明。 ・内富理事：校区自治会にクラブは入っていない。どうにかできないか。 ・西島理事：県行政、市町村行政への理解促進がもっと必要。 ・齋藤理事長：トップダウンを待つだけでなく、1つ1つのクラブの質を上げて現場から突き上げていく必要がある。 ・中村理事：一方的な支援を受ける形だけでなく、現場から突き上げていくことを考えた方がいいと思う。
（4）SC 全国ネットワーク関係について	・齋藤理事長が9月26日に開催された第2回常任幹事会について報告。 ・ガバナンスコードについて導入されることが決まったことを補足説明。 ・齋藤理事長から、クラブ宛てに様々な調査やアンケートがあるため、それを1つの様式にして共有いただきたい旨述べたとのことである。
5 議事	
（1）令和2年度（2020年度）の事業及び予算について	・齋藤理事長から、第3回常任委員会にて協議した結果を報告
—協議の結果—	
・県内クラブ交流大会をプロジェクト方式に変えるのはいいが、明確にいつまでに何を決め	

ればいいのかを明確にしてプロジェクトのメンバーに伝えるといいのではないか。

- ・プロジェクトメンバーが議論する材料があるといいのではないかと感じる。
- ・第9回県内クラブ交流大会で参加者にアンケートをしてはどうか。また、ブロック別事業での意見聴収をしたらどうか。（何に興味があるか等。）
- ・ブロック会議でプロジェクトメンバーの発言時間を入れたらいいのではないか。
- ・次年度計画の中で、県独自基準について議論する場を設定すべきであるが、日本スポーツ協会に確認し、反映させたい。

(2) 復興支援金の支出状況及び残金の使途について

- ・現時点での残金を確認。
- ・年度内に実施する「登録・認証制度」について、ブロック毎に勉強会の開催ができるといいのではないかと意見となった。

(3) イトメン収入及び今後の予定について

- ・齋藤理事長から夏期の売上の報告及び冬期の実施について説明。
- ・冬期についても実施することに決定。

6 その他

7 閉会

